

# 宇津峰へ落ちて怒濤の天の川

文化振興課 ☎(88)9172

市では、市内の名所や旧跡などの景勝地23か所に「俳句ポスト」を設置しています。誰でもその場で投句でき、毎年多くの俳句が投函されています。平成30年度も市民の皆さんをはじめ、東京や遠くは熊本など、本市を訪れた皆さんがそれぞれの思いや須賀川の風情などを句に詠み、一般の部に3686句、子どもの方に5522句が寄せられました。1月30日に選句会を開き、年間特選、秀逸、入選句を選びました。第2回の入選句と併せて紹介します。

## 年間特選句

### 牡丹賞（一般の部）

宇津峰へ落ちて怒濤の天の川  
東京都江戸川区 佐久間博信

### ぼたん賞（子どもの部）

ひらひらともみじの手紙ふつてくる  
柏城小2年 星 かのん

## 年間秀逸句

### 赤松賞（一般の部）

季語生みし我が古里の牡丹かな  
市内宮の杜 道山 孝男

### あかまつ賞（子どもの部）

星の子は五千万才夏の夜  
大東小4年 岡部幸太郎

## 翡翠賞（一般の部）

薫風や出会ふ人みな案内人  
山形県山形市 伊藤 厚子

### かわせみ賞（子どもの部）

ふゆのまちウルトラマンにゆきぼうし  
阿武隈小4年 鈴木 心優

### 年間入選句（子どもの部）

まつしろなゆきのおふとんジャンプする  
西袋一小1年 高野 耀斗  
みずぶそくきゅうりのかたがぶーめらん  
白江小1年 阿保羅衣湊  
じきゅう走秋風となりをおいこした  
柏城小4年 大和田あやめ  
春がきたいつもみたいなからおをして  
柏城小4年 相樂 修斗  
校庭をたんけんしている一年生  
白方小5年 矢部 康祐  
おじいちゃん戸を開けて言う雪降るぞ  
大東小6年 若林 里歩  
カラカラと石が転がる秋初め  
第二中1年 西村怜太郎

## 年間優秀校

### 等躬賞（受賞校）

#### 阿武隈小学校

#### 牡丹賞受賞者よこごびの声



東京都江戸川区 佐久間博信さん

産湯に浸かり、青春時代までを見つけて来た母なる山、宇津峰。坂上田村麻呂東征伝から南北朝の戦記まで歴史に関わりのあるこの山。  
幼い頃から絵に描いたり、作文に書いて来たこの山を、自然の流れで俳句に。夜空を見上げれば、天の川は我が家の上から宇津峰へと流れて落ちて行きます。この壮大な景色を是非俳句にと思って作ったのがこの句です。

## 第2回選句入選句

### 一般の部（6句）

尼様は母と同齢白牡丹  
東京都江戸川区 佐久間博信  
マラソンの砲初冬を揺るがして  
市内館取町 鈴木 征子  
東西へ山脈を置く冬景色  
市内梅田 関根 邦洋  
大根干す村を飛び越す一機かな  
市内仁井田 高橋 富子  
一章で止まる論文秋刀魚焼く  
郡山市富田町 服部 美桜  
季語生みし我が古里の牡丹かな  
市内宮の杜 道山 孝男

### 子どもの部（34句）

まつしろなゆきのおふとんジャンプする  
西袋一小1年 高野 耀斗  
じてんしゃはまつすぐあきのかぜのよう  
阿武隈小1年 境田 華凜  
あきのやまおやつこうかんだのしいな  
長沼小1年 和田 寧々  
にあうかないどこにもらったこのゆかた  
白方小1年 秋保 芹那  
みずぶそくきゅうりのかたがぶーめらん  
白江小1年 阿保羅衣湊  
きりふかくめいろみたいなあきのみち  
柏城小2年 菊地 留奈  
あきのそらががみみたいいなみずたまり  
柏城小2年 想田 丈琉  
あめんぼは雨のおいがするんだよ  
柏城小2年 立石 優奈  
ひらひらともみじの手紙ふつてくる  
柏城小2年 星 かのん  
白鳥がいえのまつえをこんでいく  
白方小2年 木船 蒼  
ゆきだるまババにおかえりつたえてね  
白方小2年 深谷 蘭  
きのうみたたいまつあかしゆめに出る  
第一小3年 河原胡々菜  
いねかりをはじめたよつつかれたよ  
第三小3年 坂本明佳里  
うんていのしましになる秋のかけ  
柏城小3年 遠藤 凜愛  
さん道にろうそく光る初もつで  
大東小3年 宗形 柁音

冬の森にとけこんでいる時計台  
大森小3年 関根 颯良  
はだか木が雪の実をつけ立っている  
大森小3年 関根 凜空  
イチイの実プールの前でさびしそう  
長沼小3年 森 菜々子  
願いこめ松明あかし天こがせ  
西袋一小4年 遠藤 瑛人  
ふゆのまちウルトラマンにゆきぼうし  
阿武隈小4年 鈴木 心優  
じきゅう走秋風となりをおいこした  
柏城小4年 大和田あやめ  
たくさん野菊がゆれるお城山  
長沼小4年 深谷 結依  
あまがえる葉っぱのしずくのぞきこむ  
白方小4年 渡辺 優樹  
牡丹焚火空までこがしていいにおい  
第三小5年 吉田 夕凜  
水たまり中をのぞけばいわし雲  
柏城小5年 橋本彩裕実  
台風がたてた予定をこわしてく  
柏城小5年 宮田 大輝  
水たまりふいに映った赤とんぼ  
柏城小6年 高橋 佑菜  
おじいちゃん戸を開けて言う雪降るぞ  
大東小6年 若林 里歩  
初めてでしわなくできたよもちまるめ  
大森小6年 関根 偉央  
えんぴつが卒業間近を教える  
大森小6年 渡辺 凜  
ふとんから気合で起きる冬の朝  
白方小6年 矢部 聖奈

#### ぼたん賞受賞者よこごびの声



柏城小3年 星 かのんさん

校でいであそんでいるときに、わたしの目の前を何まいかのもみじのはが、ひらひらとおちていきました。わたしには、それがもみじからの手紙に見えました。「もうすぐさむい冬がくるよ。」と書いてあるかのようにでした。そのときのことをはいくにしました。わたしのはいくがしようにえらばれてとてもびっくりしました。これからもたくさんのはいくを作っていきたいです。



凡フライ見上げた空に鱗雲  
西袋中1年 吉田 悠翔  
満月の光の中で本開く  
第三中2年 笠巻乃々愛  
ごうごうと燃ゆる松明あかしの火  
小塩江中3年 並木 稜汰  
※学校名、学年については、投句をされたときのものです。

#### 年間投句状況

	投句者(人)	投句数(句)
一般	300	3,686
子ども	3,088	5,522
計	3,388	9,208